



第18号

第36回京都市地域リハビリテーション交流セミナー

「夫が脳で倒れて～仕事復帰(社会参加)へのステップ～」

を開催します

今回は、50代で脳梗塞を発症した夫の復職までを綴った「夫が脳で倒れたら」の著者の三澤慶子さんとご本人の轟夕起夫さんのお二人をお招きし、復職までの実際について当事者、家族の立場から語っていただく講演会を開催します。

当日は、講演のほか、支援の現状や課題などについて情報・意見交換を行うため、地域で障害者の就労支援をしている方々を交えたシンポジウムを開催し、社会参加（復職）について考える機会とします。是非、ご参加ください。



日時

令和2年2月20日（木）午後2時～午後4時15分（午後1時30分開場）

会場

京都市地域リハビリテーション推進センター 1階 研修室

内容

第1部：講演（午後2時05分～午後2時50分）

「夫が脳で倒れて～仕事復帰（社会参加）へのステップ～」講師：三澤 慶子 氏、轟 夕起夫 氏
…働き盛りに脳卒中で倒れ、右半身麻痺の障害が残った後、リハビリを続けながら仕事復帰された体験を、当事者、家族の立場でお話しいたします。

第2部：シンポジウム（午後3時05分～午後4時15分）

登壇者：三澤 慶子 氏、轟 夕起夫 氏、清水 一史 氏（京都障害者就業・生活支援センター）
清水 聡子 氏（京都障害者職業センター）、宮川 直山 氏（u&n 障害者就職支援センター）
…障害を持ちながら社会参加（復職）するうえで、どのようなことが大切か、また、どのような社会資源を活用することができるかなどについて意見交換をします。

定員

100名 事前申込制（先着順）

料金

無料

申込

申込方法は、FAX か電話。（電話受付は、月～金の午前8時30分～午後5時）

問合せ

TEL 075-823-1666 FAX 075-842-1541

申込期限は、令和2年2月19日（水）までです。

※手話通訳、要約筆記、点字資料などが必要な方は、2月7日（金）までに申込みをお願いします。



京都市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



よくわかる！



京都市地域
リハビリテーション
推進センターの

障害者支援施設

就労支援について



当施設では、高次脳機能障害のある方が、日常生活の自立や就労等の社会参加につながるよう訓練や支援を行っています。そこで、実際の達成状況等について、平成30年度のデータを元にご紹介します。

1. 利用開始時の目標

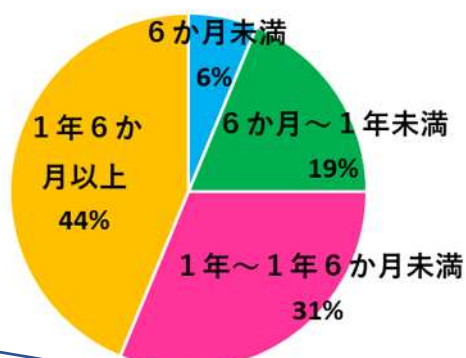
(平成30年度中に利用を終了した22名の内訳)



およそ7割の方が、就労を目指しておられます。

2. 就労/復学希望者の在籍期間

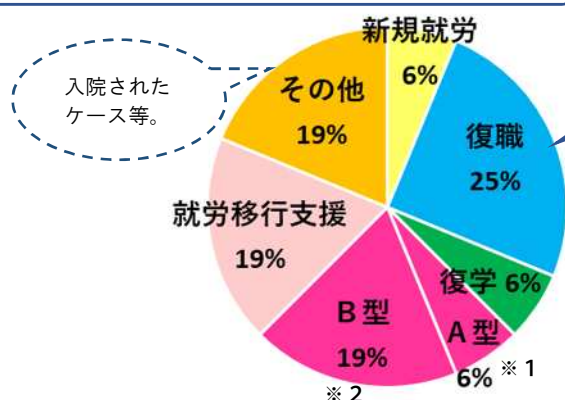
(就労/復学希望者16名の内訳)



利用開始時の状態によっては、働くための体力作り、自身の障害理解、代償手段の獲得などに時間がかかります。支援が1年以上にわたるケースが多いです。

3. 利用終了時の状況

(就労/復学希望者16名の内訳)



81%の方が目標を達成、もしくは就労に向けて次のステップに進んでおられます！

注※1、※2は就労継続支援事業所A型/B型をさす

<就労継続支援事業所>

一般企業での就労が困難な方に、就労の場を提供するとともに、知識や能力の向上のための訓練を行う事業所
A型：原則として、雇用契約による就労
B型：雇用契約によらない就労

次のページでは、実際のケースについてご紹介します！

ケース紹介

休職中だったAさん

< Aさんについて >

- ・ 30歳代男性。脳出血を発症し6か月経過。退院して自宅で過ごしている。
- ・ 高次脳機能障害（失語症、記憶機能/処理速度低下）、軽度右片麻痺あり。
- ・ 会社員（接客業）休職中。復職期限は6か月後。

通所利用開始

リハビリをして、
職場復帰したい！

施設外では…

職場と2度の面談を行う

職場の上司、家族、本人、当施設職員等で面談。
後遺症や必要な配慮、現在のリハビリの内容等について職場へ説明。

元の職場では、病前と同程度の業務をする必要があることや、遠距離通勤による負担が大きいことから復職を断念。

施設内では…

・ 高次脳機能訓練（認知課題プリント、PC入力練習など）を実施

・ 体力UPやバランス機能改善のための集団プログラムや、小集団でのコミュニケーション訓練の実施。

・ 麻痺側である右手の使用を促す声かけや使用機会の提供。

・ 理学療法、作業療法、言語聴覚療法を実施。

・ 就労を念頭に置き、通所回数を週1回から週5回へと増やしていく。

適切な障害理解と対処方法の獲得

就労にあたって自分の得意なこと、配慮が欲しいことなどを職員と一緒に整理する。

利用開始から5か月後

障害者職業センターで職業評価を受ける

障害者就業・生活支援センターへ紹介
就労に関する相談のほか、仕事をするために必要な生活上の相談を行います。

障害者就労支援スキルアップ研修に参加

模擬面接を体験。企業の人事担当者からフィードバックをもらい自信がつく。自身の課題を認識し対応方法を学ぶ。

障害者就職面接会に参加

面接試験に繋がり見事採用となる！
勤務開始までは障害者職業センターで職業準備支援を利用。

復職は諦め、新たに
自分に合った仕事を探そう！

利用開始から1年半後

障害者枠雇用で
新たな職場で働くことが決定！

このように施設内でのリハビリと並行して他機関と連携を取りながら、就労や復学に向けて支援を行っています！



京都市地域リハビリテーション推進センター 障害者支援施設 概要

- ◆利用対象者：18歳以上で高次脳機能障害を有する方
- ◆利用定員：入所又は通所での自立訓練（機能訓練25名、生活訓練15名。うち施設入所支援30名。短期入所も行っています。）
- ◆利用期間：個々の課題や目標に応じて、機能訓練は最長1年6か月、生活訓練は最長2年
- ◆お問合せ：京都市高次脳機能障害者支援センター TEL 075-823-1658

耳と補聴器の相談会

日 時	令和2年3月5日（木）13時30分～16時
場 所	京都市聴覚言語障害センター（中京区西ノ京東中合町2番地）
内 容	医師等による聴力検査・医療相談・補聴器相談（費用は無料）
申込方法	往復はがきの「往信裏面」に申込者の住所・氏名・電話番号を、「返信表面」に申込者の住所・氏名を記入のうえ、2月3日～2月21日（必着）に地域リハビリテーション推進センター相談課まで郵送してください。（申込者多数の場合は抽選）



電動車椅子講習会を開催します！

今年度2回目の電動車椅子講習会を、令和2年3月3日(火)午後1時30分～午後4時に開催します。京都府警察中京警察署員による交通ルールについての講習や実際に電動車椅子に乗っての操作体験など実施します。

電動車椅子の使用を勧める立場のケアマネジャーや医療関係者の方、これから電動車椅子に乗ってみようと思われている方やその方を支援されている家族の方などのご参加をお待ちしております。電動車椅子の操作を安全な環境で体験していただける貴重な機会ですので、是非お気軽にご参加ください。



研修報告 『よくわかる高次脳機能障害セミナー』を開催しました！

令和元年12月16日に、「認知症ケアの知識と経験はこう使える！ ～共通点と相違点～」というテーマで、京都大学大学院医学研究科精神医学講師の上田敬太先生にお話しいただきました。脳血管障害で高次脳機能障害となった場合は、40歳以上は介護保険の対象となりますが、「高次脳機能障害の対応が難しい」「認知症との違いがわからない」等の声があり、介護保険施設や事業所の職員の方に高次脳機能障害の理解を深めていただこうと、昨年度から実施しています。参加者は264名でした。



脳の損傷部位ごとに出現しやすい症状とその対策、経過などを説明いただきました。参加者からは、「高次脳機能障害と認知症の違い、サポートの方法がよく分かった」、「脳の損傷部位による症状を知っておくと、的確なケアマネジメントができるかもという、少しの自信とやる気につながった」、「認知症のケアの目的と高次脳機能障害のケアの目的の違いを知ることが出来て役立った」などわかりやすい内容であったと好評でした。次回の本研修は、秋頃開催の予定ですが、京都市高次脳機能障害者支援センターでは他にも研修を開催していますので、是非ご参加ください。
<http://koujinoukinou-city-kyoto.jp/>

★編集後記★ 気温が低くても、日差しの中には次の季節を感じるようになりました。
春は新しいことを始めるよい機会。いくつか候補をあげるだけでも、リフレッシュになりそうです。心に新しい楽しみが芽吹きます。

【リハ✿エール】第18号 令和2年2月発行
発行 京都市地域リハビリテーション推進センター
〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30番地
電話 075 (823) 1650 (代表)
FAX 075 (842) 1545
Eメール rehabili@city.kyoto.lg.jp
京都市印刷物 第314986号